

平成30年4月9日(月)

平成30年度1学期始業式

おはようございます。

さて、今年度最初の日に当たり、皆さんに考えてほしいテーマがあります。それは「旅に出よ」というものです。

まず、ここで言う「旅」の二つの意味を説明しておきます。一つは、物理的な旅、つまり空間的・時間的に移動する旅です。もう一つは、象徴的な意味での旅、すなわち自分の経験値にはない体験をすることです。

一つ目の「旅」についてお話しします。物理的な移動を行う時、我々は様々な困難に立ち向かわなければなりません。移動の手段や荷物の運搬、他人との交渉、そして慣れ親しんだ空間と異なる、言わば異文化の空間に身を置く困難です。これらの困難を一つ一つ乗り越えながら旅は進んでいきます。それは自分の弱さと向き合い、克服し、成長する時間でもあります。そういう意味でいろいろな旅に出てほしいと思います。

その一つが2年生の修学旅行ですね。他にも大学のオープンキャンパスや、海外ホームステイなどもあります。特に海外への旅は、未知の価値観に触れ、新しい自分と出会う経験となります。私自身も1年間アメリカの大学に留学しましたが、自分の人生観が変えられる日々となりました。

私はアメリカの首都ワシントンに住み、ジョージタウン大学というところに通いました。大学の授業、日常の生活や食事、休みの日の娯楽など、日常そのものが充実した時間だったと思い出します。特に、友人達と出かけたアメリカ横断旅行は人生で最高の経験の一つです。

二つ目の「旅」についてお話しします。これは、自分のこれまでの経験値にはない体験をすることです。この旅もまた、自分の価値観を揺すぶられ、見直す時間となります。その結果、これまでの自分の殻を打ち破り、新しい自分へと成長することになるでしょう。そのような挑戦を「旅」と呼びたいと思います。校訓の一つ「剛健」に繋がる旅です。

第一志望を最後まで貫くこともまたその一つです。この3月に旅立った卒業生の多くが第一志望を貫き、その試練を乗り越えて栄冠を勝ち取りました。それはともすれば妥協したくなる自分との戦いです。しかし、その戦いを乗り越えた時、一回り大きくなった自分に巡り会えるのです。これもまた旅に出ることだと思います。

その準備として、困難に挑戦する行動、すなわち「旅」を、皆さん全員が自ら進んで行う、そういう学校でありたいと思います。「旅に出でよ」この言葉を皆さんに贈って、本年度始業の挨拶といたします。